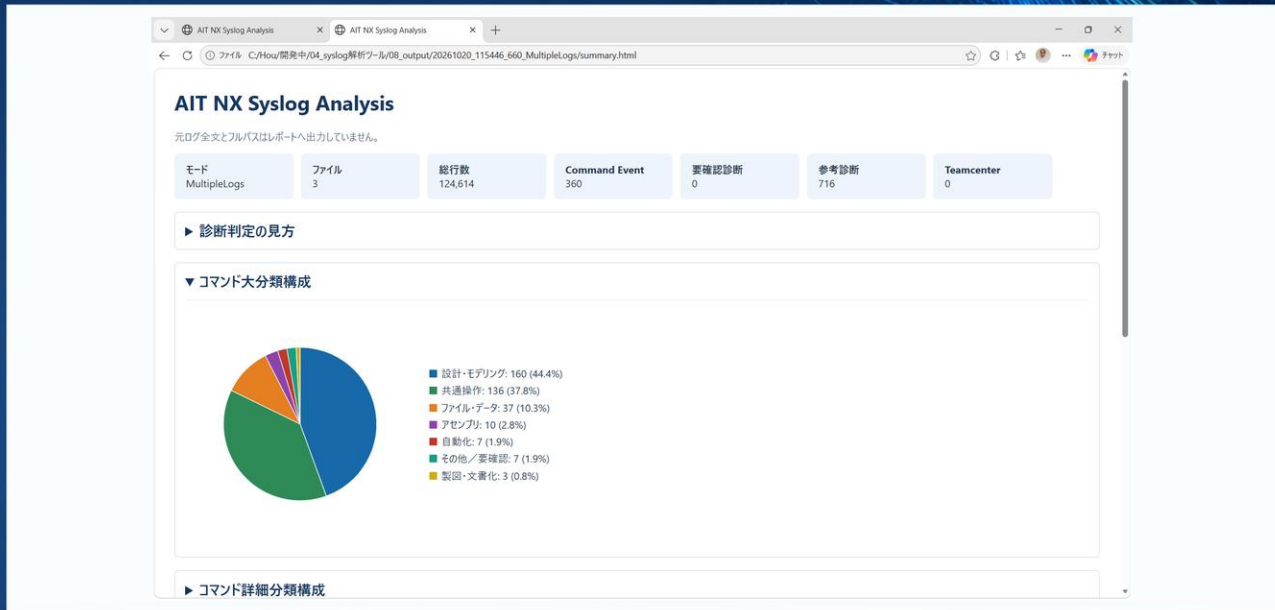




AIT NX Syslog Intelligence

NXの不調の兆候は、syslogに記録されているかもしれません。

毎日の状態確認、利用傾向の集計、問題発生時の報告まで。NXのsyslogから、次の判断に役立つ情報を引き出します。



解析レポートの例（画面内の件数は説明用サンプルです）

01 現場

早めに気づく

今日のsyslogの内部エラーを確認。必要に応じて保存や相談を早めに判断できます。

02 管理部門

根拠で決める

複数のsyslogから利用頻度と傾向を集計。教育・標準化の優先順位づけを支えます。

03 問題発生時

すばやく報告

syslog付きの報告をOutlook下書きまで準備。報告作業の手間を減らします。

解析アプリの起動にNX本体・NXOpen実行ライセンスは不要 / Windows 11 64bitで動作確認済み

使い方のイメージ

毎日

今日のNX使用状況で状態を確認

問題発生時

syslog付きの報告を準備

定期的に

利用傾向を集計し、標準化へ

こんな課題はありませんか

現場・管理部門・IT部門の「見えない」を減らします

NXのsyslogには、日々の操作や診断の手がかりが記録されています。ただ、そのまま読み解くのは簡単ではありません。

立場	こんな課題	AIT NX Syslog Intelligenceなら
NX利用者 設計現場	保存不能やクラッシュが心配。今日のNXの状態が分からないまま作業を続けている。	今日のsyslogの内部エラーを確認し、保存や相談の判断に役立てます。
管理部門	どのコマンドがどれだけ使われているか分からず、教育や標準化の優先順位をつけにくい。	複数のsyslogを集計し、操作名・分類・回数で利用傾向を可視化します。
IT部門 サポート窓口	問題のたびにログを探し、状況を聞き取り、報告メールを作る手間がかかる。	syslog付きの報告をOutlook下書きまで準備。メールは自動送信されません。

導入しやすい理由

既存のNX運用を変えずに、始められます

① NX本体なしで起動

解析アプリの起動にNX本体・NXOpen実行ライセンスは不要です。

② Windows 64bit

Windows 11の64bit環境で動作確認済みです。

③ 専用サーバー不要

端末固定ライセンスで、顧客側に専用ライセンスサーバーは不要です。

④ 報告は下書きまで

Outlookの下書きを作成。宛先・添付を確認して利用者が送信します。

ご導入の流れ

1

お問い合わせ

端末数・エディションを相談

2

お見積り

初年度・更新年額を提示

3

ライセンス発行

端末固定ライセンスを発行

4

ご利用開始

基本サポートはメール対応



主な機能

毎日の確認から、集計、報告まで



今日のNX使用状況サマリー

機能 1・日常確認

作業を続ける前に、今日の状態を確認

今日のsyslogの診断の手がかりを1画面にまとめます。

- ・ 内部エラーを確認し、保存や相談の判断に役立てる。
- ・ 履歴比較で変化を把握
- ・ フィーチャ状態はNX画面で確認

コマンド名	実行回数	実行日時	実行ユーザ	実行場所
nx:show	100	2019/01/01	admin	192.168.1.1
nx:clear	50	2019/01/01	admin	192.168.1.1
nx:help	30	2019/01/01	admin	192.168.1.1
nx:show	20	2019/01/01	admin	192.168.1.1
nx:clear	10	2019/01/01	admin	192.168.1.1

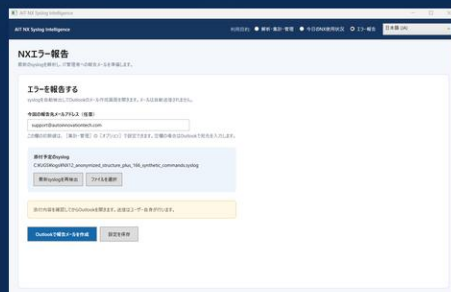
上位コマンドの一覧

機能 2・集計

操作の集計を、教育と標準化の根拠に

複数のNX syslogから利用頻度と傾向を把握します。

- ・ 3,000超のNX標準コマンド表示名を内蔵
- ・ 操作IDを操作名・分類・回数で読み解く
- ・ HTML・CSV・JSONで出力



NXエラー報告画面

機能 3・報告

エラー報告の準備を、短く・確実に

問題が起きたらsyslogを確認し、Outlookの下書きへ。

- ・ 添付するsyslogと報告先を画面で確認
- ・ 発生日時・直前操作・影響を補足
- ・ メールは自動送信されません

Professional

NX以外のログも、使える情報に

任意のテキストログから、ルールに合ったイベントとIDを抽出。汎用辞書の表示名・分類を付けて整理します。

ログID	ログ名	ログ内容	ログ日時	ログユーザ
001	nx:show	nx:show	2019/01/01	admin
002	nx:clear	nx:clear	2019/01/01	admin
003	nx:help	nx:help	2019/01/01	admin
004	nx:show	nx:show	2019/01/01	admin
005	nx:clear	nx:clear	2019/01/01	admin

汎用ログの実行結果（説明用サンプル）

エディション比較

NX syslogの解析機能は、どちらも同じです

エディション比較	Standard	Professional
NX syslogの解析（単一・複数）	○	○
コマンド利用状況・診断候補の集計	○	○
今日のNX使用状況	○	○
エラー報告用のOutlook下書き	○	○
3,000超の表示名／HTML・CSV・JSON出力	○	○
任意テキストログのキーワード・ID抽出	—	○

NX syslogの解析・集計・報告が中心ならStandard、NX以外のログも扱うならProfessionalが目安です。

よくあるご質問

Q 解析時にNX本体は必要ですか？

いいえ。解析アプリの起動にNX本体・NXOpen実行ライセンスは不要です。Windows 11 64bitで動作確認済みです。

Q ログが社外に送信されますか？

社内サポート窓口宛での運用では、ログは社外に出ません。メールは自動送信されません。

Q ライセンスの単位は？

1端末につき1ライセンスです。5・10・20・30・40・50席の法人一括契約もご相談いただけます。

Q サポートの範囲は？

インストール・ライセンス・製品操作・不具合受付をメールで対応。一般提供する更新版と辞書更新も含みます。

Q 価格は？

端末数とエディションに応じてお見積りします。初年度と更新年の年額を併記します。

製品情報・お見積りのご相談

端末数とエディションをお知らせください。導入前の評価方法もご相談いただけます。

www.autoinnovationtech.com
info@autoinnovationtech.com



ホームページ



メール